

年長組(5歳児) 10月指導計画 あやめ台幼稚園

予想されるこどもの姿	経験・活動、行事	家庭・地域との連携	アプローチのポイント
<ul style="list-style-type: none"> <li>園生活のリズムを取り戻し、これまで以上に積極的に友だちや教師とのかかわりを楽しむ</li> <li>運動会の競技で勝つ楽しさを知り、勝ちたいという気持ちをもって臨む</li> <li>バッタやトンボなど、秋に多く見られる虫に興味をもち探したり捕まえたりする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体重測定</li> <li>自由参観期間</li> <li>運動会予行練習</li> <li>運動会</li> <li>栗拾い</li> <li>こんにやく作り見学</li> <li>マリーゴールド染布</li> <li>体力測定</li> <li>収穫まつり(調理・おみこし担ぎ)</li> <li>誕生会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>球根を植えるための個人の植木鉢の持参を呼びかける</li> <li>収穫まつりで使う豆絞りの持参を呼びかける</li> <li>マリーゴールドの染布に使うハンカチの持参を呼びかける</li> <li>栗畑で使うビニール袋の持参を呼びかける</li> <li>気候に合わせて、衣服の衣替えを呼びかける</li> <li>尿検査の結果について知らせる</li> <li>昨年作った味噌を持ち帰り家庭で味わってもらう</li> <li>子どもの小さな成長をこまめに伝え(がんばりカード、昼食の量や速度、保護者が気にしていることなど)安心して預けてもらえる関係づくりを心掛ける(電話、お迎え、行事など)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動会に関係する取り組みをとおし、健康な心と体、自立心、協同性、思考力の芽生え、数量や図形についての興味・関心などを養う</li> <li>さまざまな作物の実り方や調理方法を知り自然との関わりに意識を向け、食物の流通や物質の変化などにも興味をもてるようにする</li> <li>幼稚園生活も残り半年になったことを知り、時間や行動、物の管理など、小学校への進学を視野に入れこれまでよりも意識して取り組めるようにする</li> </ul>

ねらい(以後継続するねらいも含まれる)	援助・配慮	
<ul style="list-style-type: none"> <li>食物に感謝し、食べこぼしがないように気を付けて食べたり、好き嫌いをなくさまざまな食材を食べようとしたりする</li> <li>時計の読み方を知って興味をもち、時間を意識した行動をする</li> <li>小学校がどんな所か意識し興味をもつ</li> <li>ルールを守って遊びを楽しむ</li> <li>友だちと一緒に活動する楽しさを味わう</li> <li>自分たちで物事を解決する(互いの考えを理解し、折り合いをつける)</li> <li>定期的に自分のロッカーや道具箱の整理整頓をする</li> <li>身支度で忘れていないか</li> <li>自分たちで確認する</li> <li>私語をせずに相手の目を見て集中して話を聞く</li> <li>正しい日本語を意識して話す</li> <li>布巾の使い方を知り自分たちで机を拭く</li> <li>季節の変わり目の天候の不安定さを知り体調管理を意識する</li> <li>一番上の学年であることを意識して、年中少の手本になれるように行動する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>稲刈りや脱穀、他の作物の収穫などを振り返り、育てる苦労を知ったうえで、米粒を残したり食べこぼしたりせず大切に食べられるよう声をかける④</li> <li>給食は栄養に基づいて献立が決まっていることを話し、自分が好きな物だけでなく、満遍なく食べる意識をもてるようにする</li> <li>椅子を引いて机に近づけたり、前を向いて食べたりできるように声をかける</li> <li>食後に、自分の座っていた場所周辺をきれいにできるように呼びかける(食べこぼしを拾うためのトイレトペーパーや雑巾を準備する)</li> <li>「ひとつぶ」「ふたつぶ」などの数え方に親しみをもち、数える経験をできるように配慮する⑧</li> <li>時計の長針、短針をそれぞれ読んだ後に、時間の読み方を伝え、興味をもてるようにする⑧</li> <li>朝や帰りの身支度や昼食、片付けやなど、時計を意識しながら行えるよう声をかける。小学校では昼食の時間も限られていることを伝え、時間内に食べられるよう言葉かけをしていく</li> <li>運動会の練習で小学校に行く際に、事務室にも先生がいることや授業の時間が決まっていることなど、そのつど気付けるように伝えていく⑤</li> <li>友だちと仲良く使うものを理解し、自分たちで約束や決まりをつくりながら遊んだり協力して片付けたりできるように話す③④⑨</li> <li>自分の考えをもつこと(考える時間を設ける)、友だちに伝える機会、認めてもらえた喜びなど“伝える”ことが楽しいと思えるような時間をこまめに作る⑨</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友だちの意見を聞く、受け入れる、または自分の異なる考えを伝える、なぜそう思うのかを言葉にして、子どもたち同士で話し合ったりぶつかったりする機会を作り学習していけるようにする⑨</li> <li>折り合いをつけるにはどうしたらよいか問いかけ、自分たちで考えられるように言葉かけする(前段階として、自分の気持ちを言葉で表現することや相手の意見を聞き入れることが必要)⑥</li> <li>自分たちで解決できた姿を認め、自信や今後への意欲をもてるように声掛けする②</li> <li>運動会も終わり、自分の持ち物にも責任をもって身支度できるようになったうえで、最終確認を教師ではなく子どもたちで進められるようにする②</li> <li>自分の持ち物の管理が自分でできるように意識づける</li> <li>トイレのサンダルを揃えられているかこまめに見に行くことで、自然と意識化されるようにする②④</li> <li>忘れ物がなくなった日に達成感を味わえるよう呼びかけていく</li> <li>自分で考えてできた時の達成感を味わい、自立心を養えるようにする</li> <li>達成カードなどを作り、まずは楽しみながら習慣化できるようにする</li> <li>「これ」「トイレ」などの単語ではなく、文章として言えるように指導していく⑨</li> <li>布巾の折り方を伝える</li> <li>朝晩の気温差や、空気が夏と違い涼しくなっていることを感じられるような声掛けをしたり、温湿度計を確認して温度や湿度について数値として考えられるようにする⑧</li> <li>地域によっては台風が上陸する所もあることを伝え、自然の脅威の一つを知り備えなどにも意識を向けられるようにする⑤</li> </ul>

<10の姿>①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識の芽生え ⑤社会生活との関わり ⑥思考力の芽生え ⑦自然との関わり・生命尊重 ⑧数量や図形、標識や文字への関心・感覚 ⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな感性と表現

	ねらい	内容	環境構成	援助
第1週	<ul style="list-style-type: none"> <li>指人形作りをとおして自分の指人形への愛着や劇を行うことへの期待をもつ</li> <li>運動会に期待をもち意欲的に活動に参加する</li> <li>音を奏でる楽しさを味わう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指人形の顔の色塗りや細部の仕上げをして完成させ、発表会に期待する</li> <li>友だちと競ったり協力し合ったりして、かけっこ、マスゲーム、リレーなどに取り組む</li> <li>さまざまな楽器に触れ、音色の違いや扱い方を知る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指人形づくりでは平面だけでなく立体でも捉えられるよう本や人形を用意する⑩</li> <li>自分の役の動物等の特徴をイメージできるように絵本や図鑑を用意する。⑦</li> <li>指人形作りでは子どもが思い描いたとおりの人形が作れるよう、さまざまな顔パーツを用意を出し合って用意する(見本も用意しておく)⑩</li> <li>保育室の中に楽器コーナーを設けて、各自で存分に楽器に触れられるようにする</li> <li>ドレミで書いた楽譜をクリップでピアノに貼っておき子どもが興味をもった曲を弾こうとできるようにする⑧</li> <li>がんばりカードのキラキラシール項目以外にもあやとりやピアノ、マジックなど子どもが練習してできたことは集まり等で発表の機会を設け、友だちの良さに気づけるようにする⑩</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指人形作りに使う小麦粉のりについて、小麦粉は普段食べている物の材料だと伝え、どんな食べ物があるのかを話し合い、生活に身近なものであることに気づく。⑦⑩</li> <li>小麦粉のりや絵の具の感触を楽しみながら、指人形づくりができるようにする</li> <li>劇の内容についてイメージがもてる話し合いを深めていく</li> <li>小学校で練習する際に小学生の姿や施設を目にすることで、上の学年(学校)へ親しみやあこがれを感じられるよう配慮する⑤②</li> <li>綱の握り方、声のかけ方、姿勢など様々なパターンをクラスで試すことで、全員で考えて勝ちたいと思えるようにする①③⑥</li> <li>競ってくれる相手がいるからこそゲームを楽しめることを知り、互いに挨拶や拍手をできるようにする④</li> <li>実際にやってみての気づき、改善できるポイントを子どもたちだけで話し合う機会をつくり。繰り返しやってみる時間を確保する②③⑨</li> <li>力を合わせて勝つ喜びを味わい、次回どうすれば勝てるのか話し合いをとおして気づけるようにする(リレー、綱引きなど)②③⑨</li> <li>負ける経験をして他クラスの友だちの気持ちに気づけるよう声をかける(リレー、綱引き)④⑩</li> <li>動きがそろった場合とそうでない場合のビデオを見て完成のイメージをもてるようにする(マスゲーム)①</li> <li>体調管理のためこまめに水分補給できるようにする①</li> <li>短縄に触れる機会を作り、引っ張るコツをつかめるようにする(ホール、室内)①</li> <li>熱中症対策や体体温存のため競技中以外は基本的に日陰で過ごせるようにする(運動会予行)①</li> <li>短い綱を使い綱の持ち方や引き方を経験しながら良い方法を探せる機会を作る⑥</li> <li>マスゲームでは友だち同士で技やダンスを見せ合い互いに良い技や動きを認め合ってお手本にできるようにする⑩</li> <li>正しく楽器を扱えるよう、全員で演奏方法を確認してから取り入れられるようにする④⑧</li> <li>やみくもに叩くだけではなく、リズムを意識できるような声掛けをする⑧⑩</li> </ul>
第2週	<ul style="list-style-type: none"> <li>友だちと運動会に参加して充実感や達成感をもつ</li> <li>いろいろな友だちとのかかわりを楽しみながら遊ぶ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観客の応援を受けながら意欲的に運動会に参加する</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>運動会当日は、保護者が近くにいなくても気持ちを切り替えて普段の姿を見せられるよう登園時の受け入れを行う②</li> <li>靴のマジックテープがゆるんでないか、一人ひとりが確認してから運動しようとする②</li> <li>上着、軍手、ビブス等、自分の持ちものは自分で責任をもって管理や片づけをできるようにする⑤②</li> <li>一つひとつの競技に対して頑張りを認めながら振り返る(運動会)①</li> <li>体操では各動きが体のどこを伸ばすのか、意識して</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マリーゴールドから染め布ができることを知り、期待をもちながら花を摘んだり木綿布を縛ったりする</li> <li>・劇やオペレッタに必要なセリフや小道具、大道具について話し合う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちとのかけ合いで物語が進行していく楽しさを味わえるように③</li> <li>・指人指劇の一人ひとりのイメージを共有し、一つの世界に統一できるよう話し合いをすすめていく③</li> <li>・製作、運動では教師が手をかす前に友だち同士で試行錯誤する時間をつくる③</li> <li>・廃材や小物を目に見えるところにおき、自由に作品作りができるようにする⑩</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できるよ伝える①</li> <li>・親子でふれあいその競技自体を楽しめる機会を設ける①③</li> <li>・勝ち負けでなく、最後までやり遂げたことが大切であると気づけるようにする①</li> <li>・今まで一輪車を練習してきた成果を十分に発揮し、落ちついて発表できるようゴールに立って見守る①</li> <li>・自分の立てた目標を達成するまで諦めずにやりとおすようにする(運動会の一輪車、リレー、マスゲームなど)①②</li> <li>・協力してもらった手伝いのお母さんたちに感謝の気持ちを伝えられるよう挨拶する(運動会)④</li> <li>・マリーゴールドの染め布のための準備を通して、輪ゴムを使って留める経験ができるようにする②</li> <li>・指先を使い、布に輪ゴムをくくりつけられるように一人ずつ援助していく⑩</li> <li>・覚えた新しいトランプ遊びを友だち同士で教え合い、いろいろな友だちと遊びを楽しめるようにする⑧③</li> <li>・自分と他人とでは感じ方、考え方が違うことに気がつき、互いに納得できる意見にするにはどうしたらよいか考えていけるように言葉がけする⑥⑨</li> <li>・片付けや全体での活動時間を伝えて意識しながら動けるようにする②④</li> <li>・廃材工作をする際は、しくみや性質に気付いてのり、セロテープ、ガムテープなどを使えるように、必要に応じて援助する⑩</li> </ul>
<p>第3週</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏から秋にかけての自然の変化に気付く</li> <li>・さまざまな経験をする中で収穫まつりへの期待を高める</li> <li>・積極的に体を動かして遊ぶ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収穫まつりの踊りを楽しむ</li> <li>・ポップコーン作り、こんにやく作りを見学して調理のおもしろさを感じる</li> <li>・木に実っている栗の様子や昆虫などを観察して、その様子に気付く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・室内遊びの時にも踊りの音楽を流せるよう準備しておく</li> <li>・どんぐりにもいろいろな形や大きさがあることに気づけるように、園庭にはないどんぐりも用意する⑦</li> <li>・どんぐりを使った遊びのきっかけになるよう絵本や展示物の準備をする⑦</li> <li>・運動会終了後も引き続き体を動かすことを楽しめるように、かけっこのラインや競技の道具を残して、子どもたちが様々な種目に取り組んだり誘い合ってゲームをしたりできるようにする。①⑩</li> <li>・種と球根の違いについて理解を深められるよう絵本などで紹介する⑦</li> <li>・行事に関連した絵本を取り上げ、より深く知ったり興味をもったりできるようにする⑩</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こんにやくイモが加工されてこんにやくになるまでにどのような過程・変化をたどるのか知り、食への興味をもつ。⑦</li> <li>・ポップコーンやこんにやく芋は畑で収穫したことを話し、調理により材料が変化する様子に興味をもてるようにする</li> <li>・ポップコーンの種がはじける時の音や香りや様子を感じられるよう配慮する⑦</li> <li>・収穫の際は、種や苗植え、収穫までの過程を振り返り、育ち方や収穫方法のちがいに興味をもてるよう話す⑦</li> <li>・米を収穫してから食べられるようになるまでの流れに興味をもてるよう本や資料を使って紹介し理解を深める⑦</li> <li>・育てた食物が食べられるようになるまでにどのような過程があるのかを知り、普段食べているものにも生産者の努力があることに気付き、食べられることへの感謝を感じられるようにする⑤⑦</li> <li>・収穫を喜ぶとともに作物を育てる大変さに気付き、売られている食物も人の手により作られていることを意識できるようにする⑤⑦</li> <li>・風の涼しさや植物の変化など季節の移りかわりに気付けるよう声をかける⑦</li> <li>・飼育しているウサギやウコッケイと触れ合う時間をつくる⑦</li> <li>・園庭に姿を見せる虫の変化や鳴き声、羽音などに目を向けられるよう声かけする⑦</li> <li>・収穫祭りで栗ご飯を作って食べることに期待感がもてるようにする</li> <li>・栗畑に移動中に街の風景を見て季節感を味わえるようにする⑤⑦</li> <li>・栗を拾い、イガのむき方を知ることで木になっているところから自分が食べるまでの流れに興味をもつ⑤⑦</li> <li>・栗が実っている様子やなぜイガがあるのかや地面の様子(フカフカ)に気付き、栗をとり出す方法に興味をもって自然を楽しめるように話す⑦</li> <li>・虫を捕まえるだけでなく、その虫をどうするのか、生きていることを理解して扱えるよう声かけしていく⑦</li> <li>・栗だけでなく他の秋の植物の様子に気づき、興味をもてるように(カラスウリの色の違いについて考える)⑦</li> <li>・1人何個も栗を拾うことで美味しく食べられるものの見分け方を知り、判断できるようにする⑦</li> <li>・おみこし作りでは年長が仕上げの輪飾りを担当するので、責任をもって他学年が作ってきたものを引き継げるよう話し、また、全学年で協力して1つのおみこしを作り上げた達成感や満足感を味わえるように配慮する。③</li> <li>・運動会の一輪車の発表を通して自信を持ち、新たな技を習得したい子どもに向け技を紹介する。</li> <li>・定期的になんばりカードの項目に取り組める時間を個々に設ける①②</li> <li>・一輪車や横ばしごなどに定期的にとりくむ機会を作ったり、積極的に練習する姿を褒め、挑戦への意欲を高められるようにする①</li> <li>・友だちができたことを見て(一輪車、逆上がりなど)認めたり、自分のやる気につなげたりする①②</li> <li>・ツルナシインゲンの種まきと水仙の球根植えを比べ、球根を深めに植える理由を考えられるようにする⑦</li> <li>・植木鉢に土を入れ種まきの時との土の量の違いに気づけるようにする。⑦</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちで収穫、調理したものを喜んで食べる</li> <li>・さまざまな経験、活動、行事に取り組み、体を動かす楽しさを知る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・畑の野菜の収穫や調理を行ったり、年中組のときにつくった味噌を持ち帰ったりすることで、自然の恵みや収穫に感謝する気持ちをもつ</li> <li>・祭りの雰囲気を感じながら収穫物を食べたり、おみこしをかついだり、踊りを踊ったりして収穫まつりを楽しむ</li> <li>・友だちとドッジボールに取り組み、ルールを守って遊ぶ楽しさを味わう</li> <li>・体力測定で力いっぱい種目に取り組む楽しさを知る。また、自分の記録に関心をもつ</li> <li>・マリーゴールドの花で染め布をして色の変化や模様の違いなどに気付く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年仕込んだ味噌瓶を開け、カビの生えた様子とできあがった味噌の様子に気づけるようにする</li> <li>・収穫祭の前日には収穫物やおみこしを展示し、当日に期待感がもてるようにする。</li> <li>・衛生的に調理できるよう、手洗いせっけんや消毒スプレーの準備をする</li> <li>・当日はハッピーを用意したり、お囃子の曲のCDを流したりしてお祭りの雰囲気を盛り上げる</li> <li>・自発的にドッジボールに取り組めるよう、園庭に線を引いておく</li> <li>・園庭に体力測定の種目(25m走・テニスボール投げ、片足けんけん・立ち幅跳び)のラインを引き、子どもが自発的に取り組めるようにする①</li> <li>・25m走は減速しないで走り抜けられるようゴール位置を遠くに設定する。また、友だちと競争形式で測定する。</li> <li>・テニスボールなげは新聞紙やお手玉投げで投げる感覚をつかめるようにする</li> <li>・立ち幅とびは部屋にテープをはり、目安を作って子どもたち同士で取り組めるようにする①</li> <li>・繊維の種類によっても染まり方がちがうことを知り興味をもてるよう、実物を見せられるように準備する。⑦</li> <li>・洗濯バサミの止める位置や個数を考えてとめられるように設定する。⑥</li> <li>・保育室の壁に染めた布を飾り、友だちの作品にも興味をもって見られるようにするほか、保護者や他クラスの友だちにも見てもらえるようにする⑤⑩⑨⑥</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年、年中組のときにつくった味噌のできあがった様子を見たり味見したりしてその変化や匂い、保管方法や完成までの期間など、さまざまなことに気付けるように話をする⑦</li> <li>・安全や衛生に注意して調理できるように、包丁を使う際には保育者達が個別について援助する。</li> <li>・衛生や安全面について話し、理解した上ですすんで守ろうとできるよう話していく。(消毒後は何かに触れないよう約束する)①</li> <li>・調理活動では包丁を使ったさまざまな切り方や、いろいろな加熱の方法があることを伝える(茹でる、炒める、蒸すなど)①</li> <li>・なぜ野菜を切るときに同じ厚さで切るのか一人ひとりが考え発表する機会を作る。⑥⑩</li> <li>・種まきから調理していただくまでの流れを振り返り、流れを理解しながら食を大切にすることを養う。①⑦</li> <li>・収穫まつりでは、自分たちで育てた野菜を自分たちもかかわって調理し、さらに皆で同じものを食べることで苦手な食べ物も食べられるきっかけになるように配慮する①</li> <li>・食べ物を育てる大変さやごはんが食べられることが当たり前ではないという気づきにつなげ、好き嫌いがなくせるよう声をかける①</li> <li>・全園児で力を合わせて調理したことを振り返りながら満足感や喜びを味わいおいしくいただけるよう配慮する③⑦</li> <li>・祭りで踊る理由(収穫を喜ぶなど)を伝え、表情や動きなど、子どもたちが楽しんで取り組めるようにする⑩</li> <li>・年長は大うちわを扱う役があることを知り、期待をもって参加できるようにする③</li> <li>・おみこし担ぎでは自分の力だけでなく、全員で息を合わせて担ぐことの大切さに気づけるよう配慮する③</li> <li>・収穫祭でははっぴを着てみこしを担ぎ、五感で昔の風習や行事を体験できるようにする⑤</li> <li>・自分たちでドッジボールをすすめる中でルールを共有したり自分たちで考えて変えたりしながら遊びを展開していけるようにする④</li> <li>・相手の気持ちになってみて発言したりまとめたりできるよう援助する⑨⑥</li> <li>・遊びの延長でテニスボール投げができるよう新聞紙を丸めて、ボール飛ばしゲームを事前に行う①</li> <li>・前年度の体力測定の記録を伝え、目標をもって意欲的に取り組めるようにする①</li> <li>・友だちの記録を知ることで向上心をもって挑戦する気持ちをもてるようにする①</li> <li>・マリーゴールドの花だけでなくタマネギの皮も集めておき、一緒に煮出して染めることを説明する</li> <li>・染め布では、これまで経験した植物の色水あぞびや年中時の染料による折り染めを思い出せるよう声をかける⑩</li> <li>・身近な植物で布が染められる気づき、感動を共有する(模様の違い、色の違いなど)⑩</li> <li>・他の植物でも染められることを知り、興味をもてるようにする⑦</li> <li>・媒染剤により色が変わる不思議さや面白さを楽しめるよう声をかけていく。⑥</li> <li>・できあがった染め布でなぜ模様がついたのか、気付きをもてるように話をする(→輪ゴムで結んだところには染料がつかない)⑥</li> <li>・染め布を自ら干し、完成への流れに興味をもてるようにする②</li> <li>・輪ゴムのつけ方や染まり方で一人ひとりの模様が異なることに気づけるように話し、それぞれの作品を認め、尊重する。(染め布)⑩⑥</li> <li>・できがりの作品を持ち帰ることで自分の作ったものを使用する喜びを味わえるようにする。④</li> </ul>
---	--	--	---